

令和 5 年度

事業報告書

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月 31日



この町で集まった募金は、
この町の困ったことのために使われます。
子育て支援や高齢者の配食支援に使われたり、
災害支援や地域の見守りパトロールなど、
支援する人をサポートする資金として使われています。
支えられたり、支えたり。赤い羽根共同募金は、
その町の貯金箱のように使ってもらうもの。
そこが、「じぶんの町を良くするしくみ」なのですね。

意志あるお金、募金のチカラ。
赤い羽根共同募金



社会福祉法人 千葉県共同募金会



総括概要

千葉県における赤い羽根共同募金は、平成7年度をピークに減少傾向が続き、さらに令和2年度から、新型コロナウイルス感染症の影響を受けるなど非常に厳しい状況となっている。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に分類されたことを踏まえ、少しでも新型コロナ感染症前と同様の活動に戻るようスポーツチームとのイベントなど市町村支会等との連携を図り、「70年答申」¹に基づく取り組みを推進した。

また、募金額の回復を図るには、皆様に配分内容を知っていただき、共同募金の必要性を再認識してもらうことが重要であることから以下の4項目を重点に事業を実施した。

- 1 共同募金運動への理解と参加の促進
- 2 共同募金会の機能強化
- 3 多様な募金事業の展開
- 4 災害対応力の強化

多くの県民の皆様や企業、関係団体等にご理解とご協力をいただいた結果、募金総額は5億5,660万3,881円となり、前年度実績に比し1,267万2,381円の減額（2.2%の減額）だった。これに令和4年度配分の戻入金を合わせた5億7,558万2,598円を財源として、地域からの孤立防止をはじめ、支援を必要とする障がい者や高齢者、子どもたちのために活動している施設・団体等に対し配分を行った。

共同募金以外の助成としては、中央共同募金会と連携してポストコロナ社会に向けた福祉活動応援赤い羽根全国キャンペーンを実施した。

その事業内容について以下のとおり報告する。

I 共同募金運動の推進

令和5年度の共同募金運動は、厚生労働省告示にもとづき令和5年10月1日から翌年3月31日までの6か月間にわたり実施した。募金目標額及び配分計画については、配分委員会（7月3日）で承認の後、第245回理事会（7月13日）及び第219回評議員会（7月20日）において正式決定された。

共同募金の実績				単位：円	
区分	令和5年度	令和4年度	増減	前年度比(%)	
一般募金	356,780,587	364,466,440	△7,685,853	△ 2.1	
市町村歳末助けあい	180,119,722	186,134,119	△6,014,397	△ 3.2	
NHK 歳末助けあい	19,703,572	18,657,703	1,027,869	5.5	
合計	556,603,881	569,276,262	△12,672,381	△ 2.2	
目標額	630,000,000	630,000,000			
達成率	88.3%	90.4%			

¹ 70年答申：中央共同募金会が外部有識者による企画・推進委員会を平成26年に設置し、平成28年度に運動創設70年を迎えるにあたり、共同募金運動のあり方や地域福祉における共同募金の役割等について検討し平成28年2月に出された答申
正式題名「参加と協働による『新たな助け合い』の創造～共同募金における運動性の再生～」

(1) 戸別募金

新型コロナウイルス感染症予防対策として中央共同募金会が作成した衛生ガイドラインを遵守した活動を行った。

共同募金が地域に還元されていることを分かりやすく住民に伝える自治会・町内会向けのチラシや活動報告書等を作成し、市町村支会から直接自治会等に郵送して募金を依頼した。

(2) 街頭募金

令和3年度までは、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、街頭募金を中止した支会が多くあったが、令和5年度からは新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に移行したことを受け、新しい生活様式に対応し、参加人数を減らす・音声アナウンスを放送し声掛けを控える・スタンド式募金箱を使用し接触を控えるなど、衛生ガイドラインを遵守した方法で街頭募金を再開した支会が多くあった。

また、非接触型の募金手法として、一部支会ではキャッシュレス決済手法を街頭募金に活用した。

(3) 学校募金

- ① 教育関係団体（千葉県教育委員会、千葉市教育委員会、千葉県小学校長会、千葉県中学校長会、千葉県高等学校長協会、千葉県私学教育振興財団、千葉県教職員組合、千葉市教職員組合）の後援をいただき、県下の幼稚園、保育所、小学校、中学校、高等学校、大学、特別支援学校等において「赤い羽根をつける運動」を実施した。
- ② 募金が社会にどのように役立っているかについて理解を進めるため壁新聞(A3判)、子供向けパンフレットを全学級に配布した。
- ③ 福祉教育に力を入れている社協と連携し、学校を通じて子どもに赤い羽根共同募金の浸透を図った。

(4) 法人・職域募金

- ① 県共募、各支会から企業や団体へチラシや啓発資材などDMを送付し、協力を依頼した。
- ② 県共募では、県・県関係団体・県域団体・企業等に法人・職域募金の協力依頼を行った。支会では、市町村を中心に市町村関係団体・市町村域団体・企業等への法人・職域募金の協力依頼を行った。

(5) スポーツチームとの協働による募金

各スポーツチームの地元支会と協力して以下のとおり募金活動を行った。

- ① プロ野球「千葉ロッテマリーンズ」と協働し、選手の写真入りポスターを作成し、千葉都市モノレールや北総電鉄の駅構内やZOZOマリンスタジアム・市内の図書館や商業施設などで掲示した。

- ② サッカーJリーグ「ジェフユナイテッド市原・千葉」と協働し選手の写真入りポスターを作成し、各支会に配布した。

コラボポスターデザインやチームのロゴを使用した啓発資材を作成し、10月29日、3月20日の試合会場（フクダ電子アリーナ）において募金活動を行った。また、選手の私物による赤い羽根チャリティーオークションを2回行った。2021年度から開始した『クルマをおくろう PROJECT』は3年目として継続した。

- ③ バスケットボール B リーグ「千葉ジェッツふなばし」と協働し、選手の写真入りポスターを作成し、各支会に配布した。また、毎年作成している書き下ろしピンバッジのほか、昨年度に引き続きエコバッグの資材を作成し、船橋アリーナでの公式戦会場において複数回募金活動を行った。

- ④ フットサル F リーグ「バルドラール浦安」と協働し、選手の写真入りポスターを作成し、各支会に配布した。

メッセージ動画の作成を行い、10月28日、11月3日に浦安総合体育館で募金活動を開催した。今年度も選手の練習用ウェアをご提供いただき。チャリティーオークションを開催した。また、今年度初めてコラボレーショングッズ(缶バッジ)を作成し募金活動を行った。今年度初めての協働となる赤い羽根チャリティーオークションを開催した。

- ⑤ 女子サッカーなでしこリーグ「オルカ鴨川 FC」と協働し、選手の写真入りポスターを作成した。コラボレーショングッズ 3 種(クリアファイル・ボールペン・エコバッグ)を作成した。

- ⑥ サッカーJ リーグ「柏レイソル」と協働し、選手の写真入りポスター及び啓発動画を作成した。

各スポーツチーム協働ポスター



千葉ロッテマリーンズ



ジェフユナイテッド市原・千葉



千葉ジェッツふなばし



バルドラール浦安



オルカ鴨川 FC



柏レイソル



オークションポスター

【赤い羽根チャリティーオークション】

- ・ジェフユナイテッド市原・千葉×赤い羽根共同募金会
(第1弾令和5年10月28日～11月4日
第2弾11月6日～11月12日の期間で開催)

選手・スタッフにご協力いただき、選手が使用したユニフォームやシューズをヤフオクに出品しました。

全28品 落札総額は546,002円となりました。

※ヤフオク会則で認められた経費を引いた全額が募金となりました。



オークションポスター

- ・バルドラール浦安×赤い羽根共同募金会
(令和5年10月28日～11月3日の期間で開催)

選手・スタッフにご協力いただき、選手が使用したユニフォームをヤフオクに出品しました。

全7品 落札総額は57,200円となりました。

※ヤフオク会則で認められた経費を引いた全額が募金となりました。

(6) イベントでの募金

日付	場所	項目
9月1日 ～9月3日	幕張メッセ	初音ミクのイベント「マジカルミライ2023」に、北海道共同募金会のご協力をいただき、共同募金のブースを設置し啓発活動を行った。(募金総額 2,239,864円)

(7) その他募金

- ① 寄付者が選択して支援できる6テーマ(生活困窮者、障がい児・者、居場所づくり、子育て、つながり、被災者・被災地)に対し使途選択募金を実施し、募金協力があつた。(計273件9,317,419円)
- ② 赤い羽根協力店舗や行政機関等で通年または募金期間中に募金箱設置等の協力があつた。イオン株式会社「イオン赤い羽根募金」(10月)では従業員や来客者から街頭募金を含む募金協力があつた。(計42店189,571円、イオンタワー191,472円)
- ③ 助成先団体が主催する講演会や地域行事等に募金ブースを設けた。
- ④ 清涼飲料を購入すると一定額が募金となる寄付金付き清涼飲料水自販機の設置を推進した。(計80台1,303,899円)
- ⑤ 中央共同募金会の「ふるさとサポート募金」による協力があつた。
(計264件1,158,484円)
- ⑥ 中央共同募金会を通じて、企業等からの寄付金を受け入れた。
(計4件1,922,341円)

- ⑦ 神奈川県共同募金会からの呼びかけで、6 都府県(神奈川・東京・埼玉・愛知・大阪・千葉)の連携事業として株式会社 FRAGRANCY から 57,676 円を受け入れた。



II 広報活動の充実

県民の理解と共感が得られる共同募金運動とするため、関係機関や団体の協力を得て、次のとおり広報活動を展開した。

1 全般的取組

広報・資材・募金活動・配分事業等のあらゆる機会を通じ、共同募金の目的や募金から配分・成果までの流れを分かりやすく具体的に伝え、住民の理解を得るように努めた。特に、共同募金の多くが地域に還元され、地域福祉の推進に貢献していることを住民に分かりやすく伝えるように努めた。

2 共同募金運動発足行事

令和 5 年度共同募金運動開始の 10 月 1 日に「そごう千葉店入り口前広場」において、千葉県知事(代理：健康福祉部部長)、千葉市(代理：保健福祉局長)、千葉県社会福祉協議会会長、千葉県共同募金会千葉市支会会長、ちばポートアンバサダー、ANA 客室乗務員、そごう千葉店店長、JR 東日本千葉駅長にご参加いただいた。

また、県内各地で市町村支会が主催して発足行事を実施した。



3 計画公告・結果公告

本会定款第 39 条の規定により千葉日報に募金開始及び実施結果の公告を行った。

(募金開始：令和 5 年 10 月 1 日、実施結果：令和 6 年 4 月 26 日)

4 報道機関への情報提供

- ① NHK 千葉放送局、千葉テレビ放送、ベイエフエムに対し、中央共同募金会制作のテレビ用放映素材及びラジオ用放送素材を提供して広報キャンペーンの協力要請をした。また、千葉県を通じて千葉テレビ、千葉日報、ベイエフエムにテーマ選択募金のCMを依頼した。
- ② 県内報道機関（放送局及び新聞各社）に対し、共同募金及び災害義援金の募集等に係る情報を提供した。

5 インターネットの活用

- ① 中央共同募金会の情報提供システム、赤い羽根データベース「はねっと」(<https://hanett.akaihane.or.jp/hanett/pub/home.do>)を活用し、募金の詳細な使いみちについて情報提供した。
- ② 県共募ホームページ(<https://www.akaihane-chiba.jp/>)に募金・配分等の共同募金に係る基本的な情報のほか、配分申請・災害支援・イベント情報等について情報提供した。
- ③ 当会で取り扱っている商業用キャラクターコラボの資材や当会マスコットキャラクターびわびよのオリジナルグッズを活用した「グッズ募金」については、寄付者が事務局に来局しなくても寄付ができるよう、県共募ホームページに専用ページを開設した。

6 募金資材・広報資材の作成・活用

- ① 募金の結果や使いみちなどを掲載したチラシを作成し、戸別募金、法人・職域募金等で活用した。NHK 歳末チラシを作成して職域募金等で積極的に活用した。
- ② 子ども達に学校募金の使いみちが分かるよう、壁新聞(B2判)を小・中・高等学校に配布するほか、キャラクター募金箱・壁新聞(A3判)を全学級に配布した。
- ③ 人気商業用キャラクターとコラボした資材を活用し、若年層の募金への関心を高めた。
- ④ スポーツチームと協働したオリジナル資材を作成し、試合会場での募金のお礼として贈呈した。
- ⑤ 本会のマスコットキャラクター「びわびよ」を使用したピンバッジや広報資材の作成を行った。



「令和5年度ピンバッジ」

7 交通機関等による広報の実施

- ① 県内の私鉄(新京成電鉄・北総鉄道・東葉高速鉄道、千葉都市モノレール)の車内及び駅構内に運動期間中、ポスターを掲出した。
- ② JR 千葉駅近くの大規模街頭ビジョンで赤い羽根のCM放映を行った。
- ③ JR 京葉線海浜幕張駅前の大型ビジョン(2か所)にて、中央共同募金会制作のテレビ用放映素材を運動期間中放送した。
- ④ 県内公立図書館へ運動期間中、ポスター・壁新聞を掲出した。

8 配分先による広報の強化

- ① 配分先からの感謝の気持ち「ありがとうメッセージ」を「はねっと」や各種広報資材に掲載して紹介した。また、配分事業・配分物品・配分先発行広報紙、配分先ホームページ等、あらゆる機会を通じて募金への感謝の気持ちを住民に伝えるように努めた。
- ② 千葉県社会福祉協議会(県社協)の広報誌「福祉ちば」に、赤い羽根共同募金会の募金や配分の情報を掲載した。

Ⅲ 配分

県民の理解と共感が得られる共同募金運動とするため、配分計画及び配分額の決定について配分委員会による審議を経て、理事会・評議員会において決定し、次のとおり配分を行った。

※文中における『配分した』は令和5年度に事業実施。『配分決定した』は令和6年度に事業実施。

1 一般募金・広域配分

- ① 令和5年度一般募金・広域配分は、支会募金実績(広域分)、県共募募金実績等1億4,346万304円を福祉施設・福祉団体・NPO法人等の整備費や事業費等として配分決定した。
- ② 令和5年度より、広域配分を目的別に6つのプログラム(企画型「つくりだす」、「そだてる」、継続型「つづける」、「まもる」、中間支援協働、即応型)に分けて募集を行い、県域にわたって活動する団体及び政令指定都市において活動する団体の事業に係る経費を配分対象とした。
- ③ 用途選択募金として、6テーマ(生活困窮者、障がい者障がい児・者、居場所づくり、子育て、つながり、被災者・被災地)について活動する12団体に配分決定した。
- ④ 神奈川県共同募金会と5都府県共募の協働による「企業・団体からの用途指定寄付による配分」として、県内児童養護施設1施設に対し、入居児の生活に関わる備品整備について配分した。(57,676円)
- ⑤ 4月14日に対面で配分申請説明会を実施した。また、コロナ禍の影響で当日出席できない団体からの求めに応じて個別説明を行った。

2 一般募金・地域配分

令和5年度一般募金から計2億3,229万9,000円を各市町村社協を通じ地域福祉事業費として配分決定した。

3 市町村歳末たすけあい助成

県社協との共催で歳末たすけあい運動を実施し「令和5年度歳末たすけあい運動実施要項」に基づき、各市町村社協を通じ計1億8,011万9,722円を助成した。

4 NHK 歳末たすけあい助成

「令和5年度(第73回)NHK 歳末たすけあい実施要綱」に基づき、福祉団体・福祉施設への助成を通じ、第1次助成として6件、600万円を施設の車両や高額の備品整備に、第2次助成(A)として2件、40万円を児童養護施設等出身者(ケアリーバー)への生活・就職支援に、第2次助成(B)として39件、691万3,000円を利用者の生活のために助成し、合計47件、1,331万3,000円を助成した。



フードバンク事業



福祉施設への備品整備



令和5年度歳末たすけあいポスター

IV 組織運営

1 会の運営

(1) 理事会

4回開催し、上程議案の全てを可決した。

① 第243回理事会(令和5年5月15日)

- ・令和4年度事業報告の承認について
- ・令和4年度会計決算の承認について
- ・評議員選任・解任委員の選任について
- ・評議員選任候補者の推薦について
- ・評議員選任・解任委員会の招集について
- ・令和5年度定時評議員会の開催について

[報告事項]

- ・会長及び業務執行理事の職務執行状況報告
- ・令和4年度全国及び千葉県共同募金実績(3月末)について



- ・ 赤い羽根 ポスト・コロナ(新型コロナウイルス)社会に向けた福祉活動応援キャンペーン地域での孤立に気づき、つながり、見守る人材(つながりワーカー) 養成および実践活動助成(第3次募集)について

② 第244回理事会(令和5年5月29日)

- ・ 会長、副会長、常務理事の選定について
- ・ 評議員選任・解任委員の選任について

③ 第245回理事会(令和5年7月13日)

- ・ NHK 歳末たすあい助成要綱の一部改正(案)について
- ・ NHK 歳末たすけあい助成(第2次助成(A))(案)について
- ・ 令和5年度共同募金目標額・助成計画(案)について
- ・ 千葉県共同募金会顕彰規程に基づく令和5年度被顕彰者の決定について
- ・ 評議員選任候補者の推薦について
- ・ 配分委員会の欠員委員の選任について
- ・ 評議員選任・解任委員会の招集について
- ・ 第219回評議員会の招集について

[報告事項]

- ・ 社会福祉法人千葉県社会福祉協議会からの意見書(写)について
- ・ 市町村共同募金委員会の不適正事案の発生について

④ 第246回理事会(令和6年3月13日)

- ・ 「赤い羽根共同募金」テーマ選択配分 被災者・被災地支援の配分(案)について
- ・ 令和5年度共同募金実績額・配分(案)について
- ・ 令和5年度資金収支補正予算(案)について
- ・ 令和5年度事業計画(案)について
- ・ 令和5年度資金収支予算(案)について
- ・ 評議員選任候補者の推薦について
- ・ 評議員選任・解任委員会の招集について
- ・ 第220回評議員会の招集について
- ・ 社会福祉法人千葉県共同募金会職員の定年及び再任用等に関する規程の一部改正について

[報告事項]

- ・ 千葉県共同募金会給与規程の一部改正について
- ・ 会長及び業務執行理事の職務執行状況
- ・ 令和6年能登半島地震に係る災害等準備金の拠出及び運用について

(2) 監事監査

令和5年5月8日に定款第11条第1項の規定により監事監査を実施した。

[監査結果] 事業内容及び会計決算は適法にして正確であった。

(3) 評議員会

3 回開催し、上程議案の全てを可決した。

① 第 218 回評議員会(令和 5 年 5 月 29 日)

- ・ 令和 4 年度事業報告の承認について
- ・ 令和 4 年度会計決算の承認について
- ・ 理事の選任について
- ・ 監事の選任について



[報告事項]

- ・ 令和 4 年度全国及び千葉県共同募金実績 (3 月末) について
- ・ 赤い羽根 ポスト・コロナ(新型コロナウイルス)社会に向けた福祉活動応援キャンペーン地域での孤立に気づき、つながり、見守る人材(つながりワーカー) 養成および実践活動助成(第 3 次募集)について

② 第 219 回評議員会(令和 5 年 7 月 20 日)

- ・ NHK 歳末たすあい助成要綱の一部改正(案)について
- ・ NHK 歳末たすけあい助成(第 2 次助成(A))(案)について
- ・ 令和 5 年度共同募金目標額・助成計画書(案)について
- ・ 理事の選任について
- ・ 配分委員会の欠員委員の選任について

[報告事項]

- ・ 社会福祉法人千葉県社会福祉協議会からの意見書(写)について
- ・ 市町村共同募金委員会の不適正事案の発生について

③ 第 220 回評議員会(令和 5 年 3 月 23 日 書面表決)

- ・ 「赤い羽根共同募金」テーマ選択配分 被災者・被災地支援の配分(案)について
- ・ 令和 5 年度共同募金実績額・配分(案)について
- ・ 令和 5 年度資金収支補正予算(案)について
- ・ 令和 6 年度事業計画(案)について
- ・ 令和 6 年度資金収支予算(案)について
- ・ 社会福祉法人千葉県共同募金会職員の定年及び再任用等に関する規程の一部改正について

[報告事項]

- ・ 令和 6 年能登半島地震に係る災害等準備金の拠出及び運用について

(4) 評議員選任・解任委員会

3 回開催し、上程議案の全てを可決した。

① 第 1 回 令和 5 年 5 月 15 日

② 第 2 回 令和 5 年 7 月 13 日

③ 第 3 回 令和 6 年 3 月 13 日

- ・ 評議員の選任について

(5) 配分委員会

7回開催し、上程議案の全てを可決した。

- ① 第1回配分委員会(令和5年5月11日 書面表決)
 - ・赤い羽根 ポスト・コロナ(新型コロナウイルス)社会に向けた福祉活動応援キャンペーン地域での孤立に気づき、つながり、見守る人材(つながりワーカー) 養成および実践活動助成(第3次募集)(案)について
- ② 第2回配分委員会(令和5年7月3日)
 - ・令和5年度共同募金目標額・助成計画書(案)について
 - ・NHK 歳末たすあい助成要綱の一部改正(案)について
 - ・NHK 歳末たすけあい助成(第2次助成(A))(案)について
- ③ 第3回配分委員会(令和5年9月19日 書面表決)
 - ・NHK 歳末たすけあい第2次助成(A)助成(案)について
- ④ 第4回配分委員会(令和5年10月25日 書面表決)
 - ・赤い羽根 ポスト・コロナ(新型コロナウイルス)社会に向けた福祉活動応援キャンペーン『生活困窮者への緊急支援活動』に係る助成(案)について
- ⑤ 第5回配分委員会(令和5年12月8日)
 - ・令和5年度NHK 歳末たすけあい助成(案)について
 - ・台風第13号大雨災害に対する災害支援制度による助成(案)について
 - ・令和5年度一般募金 企業・団体からの使途指定寄付による助成<当年度助成>(案)について
 - ・「村上しずえ福祉基金」事業実施要領の一部改正(案)について
 - ・赤い羽根福祉基金 特別プログラム「篠原欣子記念財団 こども食堂応援プログラム」に係る助成(案)について
- ⑥ 第6回配分委員会(令和5年12月26日 書面表決)
 - ・受配者指定寄附金による助成(案)について
- ⑦ 第7回配分委員会(令和6年3月6日)
 - ・「赤い羽根共同募金」テーマ選択配分 被災者・被災地支援の配分(案)について
 - ・令和5年度共同募金実績額・配分(案)について
 - ・令和6年能登半島地震に係る災害等準備金の拠出及び運用(案)について
 - ・赤い羽根チャレンジ事業(案)について

2 支会との連絡調整

(1) 支会事務局長会議

2回開催(WEB会議)し、下記の議題について報告・説明し、意見交換を行った。

- ① 第1回支会事務局長会議(令和5年7月6日開催)
 - ・令和5年度共同募金目標額・配分計画(案)について
 - ・令和5年度共同募金運動に対する顕彰について
 - ・令和5年度支会別訪問調査及びブロック別会議
[報告事項]
 - ・令和5年度事務費等交付金の事前交付について
 - ・市町村共同募金委員会による不適正事案の発生、再発防止について

- ・ Colabo に関する対応について
 - ・ 法人等による寄附の不当な勧誘防止に関する法律について
 - ② 第 2 回支会事務局長会議(令和 6 年 3 月 4 日開催)
 - ・ 令和 5 年度共同募金実績額・配分(案)について
 - ・ 令和 6 年度事業計画(案)について
 - ・ 赤い羽根チャレンジ事業(案)について
- [報告事項]
- ・ キャッシュレス決済による寄付金の取扱いについて
 - ・ 支会訪問及びブロック別会議について

(2) 支会事務担当者向け会議

2 回開催し、下記の議題について報告・説明し、意見交換等を行った。

- ① 第 1 回支会事務担当者会議(令和 5 年 4 月 24 日開催)
 - ・ 令和 4 年度共同募金実績と配分について
 - ・ 令和 5 年度事業計画について
 - ・ 令和 5 年度共同募金運動および実施助成事業について
 - ・ 資材に関する事務処理等について
 - ・ 使途選択助成(被災者・被災地支援)について等
 - ・ 職員研修(全国の活動事例の紹介 グループワーク)

※また、同日に新任担当者を対象に共同募金の仕組みと市町村支会の役割について学ぶ研修を行った。

- ② 第 2 回支会事務担当者会議(令和 5 年 8 月 25 日開催)
 - ・ 令和 5 年度共同募金目標額・配分計画(案)について
 - ・ 募金をお願いする時の注意
 - ・ 令和 5 年度共同募金運動募金資材について
 - ・ 支会訪問及びブロック別会議の開催について
 - ・ 担当者勉強会の報告について等
 - ・ 共同募金の業務について(グループワーク)



(3) 共同募金会担当者勉強会

3 回開催し、下記の内容について参加者同士で意見交換等を行った。

- ① 第 1 回担当者勉強会(令和 5 年 4 月 28 日開催)
 - ・ テーマ『寄付者目線で考える、自治会への募金依頼方法』
- ② 第 2 回担当者勉強会(令和 5 年 8 月 9 日開催)
 - ・ テーマ『みんなでやりたいことを考える、共同募金研究会』
- ③ 第 3 回担当者勉強会(令和 6 年 1 月 29 日開催)
 - ・ テーマ『広報研修 ～“伝わる”情報発信&SNS～』

(4) 支会ブロック別会議(7 ブロック)

令和 6 年 1 月 16 日から 2 月 14 日の間で実施

- ・ 今年度の募金運動について
- ・ 赤い羽根チャレンジ事業について等

(5) 市町村支会訪問調査(16支会)

令和6年1月9日から2月15日の間で実施

- ・共同募金会支会状況について(広報、委員会移行、配分、資材、顕彰、会計処理等)
- ・令和5年度募金活動について(赤い羽根募金(一般)、市町村歳末)

3 事務局

(1) 中央共同募金会の研修等へ参加

- ・都道府県共同募金会職員研修会
(令和5年4月25日~26日開催、11月1日~2日開催)
- ・第12回赤い羽根全国ミーティング(令和5年7月3日~4日開催)
- ・都道府県共同募金会常務理事・事務局長会議
(令和5年7月13日~14日ハイブリッド開催、令和6年2月9日ハイブリッド開催)
- ・都道府県共同募金会 オンラインサロン 不適正事案について
(令和5年10月6日オンライン開催)

(2) 他都県共同募金会との研究協議会へ参加

- ・首都圏共同募金会職員研修協議会(令和5年7月26日神奈川県開催)
- ・関東ブロック共同募金会職員研究協議会(令和5年7月18日埼玉県開催)

V 顕彰の実施

1 共同募金運動に対する顕彰

本会顕彰規程ならびに関係機関の顕彰規程に基づき、募金運動に功績のあった個人・団体・地区を顕彰し、千葉県社会福祉大会(令和5年11月14日、青葉の森公園芸術文化ホール)において表彰を行った。

また、特に秀でた者に対しては全国社会福祉大会(令和5年11月15日、浅草公会堂)において表彰を行った。令和5年度の大口寄付者は、県共募または各支会から県共募会長感謝状の贈呈をし、特に秀でた者に対しては関係機関へ推薦し感謝状の伝達を行った。



千葉県社会福祉大会

(1) 紺綬褒章	大口寄付者	1件	寄付が500万円以上の個人
(2) 厚生労働大臣表彰状	奉仕功労団体	1件	奉仕者として特に顕著な功績がある団体 ・習志野市民生委員児童委員協議会(習志野市)
(3) 中央共同募金会 会長表彰状	奉仕功労者	5件	奉仕者として顕著な功績がある個人
	従事功労者	3件	運動推進に従事して顕著な功績がある個人
	優良地区・団体	2件	募金活動が得に優秀な地区・団体 ・千葉経済大学附属高等学校(千葉市) ・金ヶ作町会(松戸市)

(4) 中央共同募金会 会長感謝状	大口寄付者	3 件	3 年間で寄付が 20 万円以上の個人
		8 件	3 年間で寄付が 60 万円以上の団体 ・山九株式会社君津支店（木更津市） ・日本食研ホールディングス株式会社（栄町） ・松戸市はつらつクラブ連合会（松戸市） ・キテミテマツド（松戸市） ・ちば興銀「小さな親切」運動推進本部（千葉市） ・「小さな親切」運動ちばぎん支部（千葉市） ・イオンタワー（千葉市） ・株式会社トポスエンタープライズ（千葉市）
(5) 千葉県知事表彰状	運動奉仕者	1 件	20 年以上奉仕者として顕著な功績がある個人
		1 件	20 年以上奉仕者として顕著な功績がある団体 ・小糸地区民生委員児童委員協議会（君津市）
(6) 千葉県共同募金会 会長表彰状	奉仕功労者	15 件	10 年以上奉仕者として功績がある個人
	従事功労者	1 件	10 年以上運動推進に従事して功労がある個人
	優良地区・団体	68 件	5 年以上募金活動が優秀な地区・団体
	優良支会	1 件	募金活動が最も優秀な支会
(7) 千葉県共同募金会 会長感謝状	大口寄付者	8 件	寄付が 3 万円以上の個人または 5 年継続し寄付が 10 万円以上の個人
		30 件	10 万円以上の団体または 5 年継続し寄付が 30 万円以上の団体
	奉仕功労者	16 件	5 年以上奉仕者として功績がある個人
	優良地区・団体	18 件	募金活動が優秀な地区・団体

VI 共同募金以外の寄付金及び助成

1 共同募金以外の寄付金の受け入れ

中央共同募金会を通じて受け入れた寄付金を、寄付者の希望する業種種別等へ助成した。（寄付件数 1 件：寄付額 60,000 円／助成先 1 団体：助成額 50,000 円相当/受託費 10,000 円）

2 「村上しずエ福祉基金」による助成

在宅身体障害者及び県内からのハンセン病療養所入所者への見舞金品贈呈事業として、助成を実施した。（250 名・計 660,000 円）

3 車両競技公益資金記念財団への協力

中央共同募金会と連携し、高齢者、障害者等の支援を目的とするボランティア活動に対する助成及び保育所等の施設整備助成は、募集を行ったが申請がなかった。

4 「赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン」による助成

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなか、景気の悪化や感染症対策による経済状況の変化により、生活に困窮する人が増加している。令和 5 年度もこれに対応するため、中央共同募金会では全国共同募金会と共に赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン『地域に密着した多様な支援活動応援プロジェクト』を実施。千葉県では令和 4 年度の残金を活用し、生活困窮者等への支援活動を行う団体に対して、41 件、100 万円の助成を行った。

5 赤い羽根 ポストコロナ社会に向けた福祉活動応援キャンペーン

中央共同募金会では、新型コロナウイルス感染症の影響下における、地域での孤立に気づき、つながり、見守る人材(つながりワーカー)を地域に増やしていくことを目的として、『地域での孤立に気づき、つながり、見守る人材(つながりワーカー)養成および実践活動助成』を実施。千葉県では市町村社会福祉協議会に対して、750,000 円の助成を決定した。

同じく中央共同募金会では、『生活困窮者への緊急支援活動に係る助成』を実施。千葉県では市町村社会福祉協議会を含む団体に対して、2,449,000 円の助成を決定した。

6 赤い羽根福祉基金特別プログラム 篠原欣子記念財団 子供食堂応援プログラム

中央共同募金会では、財団からの用途指定寄付金を基に全国の子ども食堂のイベント開催を支援することを目的に、助成事業を実施。千葉県では 1 団体に対して、450,000 円の助成を決定した。

Ⅶ 災害時の被災者支援

1 災害見舞金の贈呈

災害見舞金規程に基づいて、県内で発生した災害の被災者延べ 276 件(全焼 140 件・半焼 26 件・半壊 12 件・床上浸水 59 件・死亡 31 件・重傷 8 件)に対し、計 2,097,000 円の見舞金を贈呈した。

2 準備金制度

社会福祉法第 118 条及び本会災害支援制度運営要綱に基づき、大規模災害時の災害ボランティア支援等に備え準備金の積み立てを行う。

* 令和 5 年度募金総額の約 3%、16,698,000 円を準備金として令和 6 年度に積み立てることとした。(災害等準備金総額：51,673,000 円)

また、令和元年度災害等準備金を財源に台風 13 号大雨災害に対する災害支援制度に申請のあった 1 市 2 町社会福祉協議会(茂原市、長南町、長柄町)に支援金 1,864,831 円を拠出し、中央共同募金会からの要請を受け、能登半島地震災害に対し 13,844,000 円を拠出した。

3 用途選択募金「被災者・被災地支援」の実施

(1) 用途選択募金にて東日本大震災の被災者支援事業の他、令和元年台風災害を受け災害時におけるボランティア養成セミナー事業に助成を行った。

(助成先 1 団体／助成額 100,000 円)

(2) 千葉県及び県内自治体では、令和6年能登半島地震の被災者に対し、県内各地において公営住宅を提供しているが、入居者に対し県内での生活をより過ごしやすいものとしていただくため、県内公営住宅への入居者に対し見舞金を提供することとなった。

千葉県から見舞金贈呈について、赤い羽根共同募金で配分してほしい旨の依頼があったため、見舞金贈呈を実施した市町村社会福祉協議会に対し配分を実施した。

(配分先6団体10件/配分額800,000円)

4 災害たすけあい義援金の募集

令和5年度までに千葉県及び全国で発生した次に掲げる大規模災害について、支会の協力を得て義援金を募集し、被災県の各共同募金会に送金した。

募集团体	義援金の名称	取扱金額(円)
千葉県共同募金会	令和5年台風13号大雨千葉県災害義援金	4,773,259
中央共同募金会	令和4年8月3日からの大雨災害義援金	1,549
石川県共同募金会	令和5年5月能登地方地震災害義援金	69,876
中央共同募金会	令和5年台風2号災害義援金	6,742
和歌山県共同募金会	和歌山県令和5年台風第2号災害義援金	1,851
茨城県共同募金会	2023年台風第2号による大雨災害義援金	1,228
中央共同募金会	令和5年6・7月大雨災害義援金	22,752
佐賀県共同募金会	令和5年7月九州北部豪雨災害佐賀県義援金	530
福岡県共同募金会	福岡県令和5年7月豪雨災害義援金	1,096
石川県共同募金会	令和5年7月大雨災害義援金	1,560
中央共同募金会	令和6年能登半島地震災害義援金	8,086,311
石川県共同募金会	令和6年能登半島地震災害義援金	13,354,897
富山県共同募金会	令和6年能登半島地震災害義援金	52,373
福井県共同募金会	令和6年能登半島地震災害義援金	871
合計		26,374,895

※本会を通じて義援金を各県に送金したものの集計。(令和6年3月31日現在)



ありがとうございます

